

海外自治体幹部交流協力セミナー2012(パリ事務所) 地方交流事業概要

【地方交流事業】

7月25日(水)【移動(東京→北九州市)/副市長表敬】

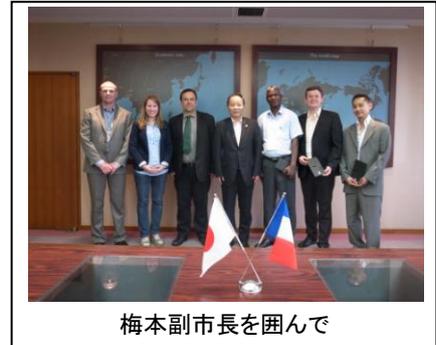
(1)北九州市副市長表敬訪問

梅本副市長から、北九州市が公害克服で蓄積した省エネや資源循環などの技術・ノウハウを活かし、低炭素社会づくりやアジアでの持続可能な発展に取り組んでいることが紹介され、視察団団長からは、受入の御礼とともに北九州市の優れた取り組みについて研修を受け、それぞれの自治体に持ち帰って今後の施策の参考にしたい旨が述べられた。

その後、副市長から滞在期間中の市内行事の紹介、参加者からは各所属自治体の紹介を行い、日仏の地方自治制度の共通点・相違点等について意見交換を行った。

(2)市内視察(小倉城庭園・小倉城)

係員から小倉城庭園内(書院棟)の説明を受けた後、併設の茶室で全員が立礼式の呈茶を体験し、あわせて小倉城の展示を視察した。



梅本副市長を囲んで

7月26日(木)【北九州市施策紹介、環境先進施設の視察】

(1)北九州市及び参加者所属都市の取組発表

北九州市環境国際戦略室から、北九州市の概要、環境政策の歴史、同市の目指す「世界の環境首都」にかかる取組が説明された。その後、各参加者から、所属自治体の概要、施策紹介、環境関連の取組等を紹介し、活発な質疑応答や意見交換がなされた。

(2)スマートコミュニティ視察

八幡東田地区の工場、商業、一般住居、博物館等が集積する区域において、IT技術を導入し地域全体のエネルギー効率を高める実証研究の説明を受けた。最新の実証実験に、参加者も大いに興味を持っていた。

(3)いのちのたび博物館、環境ミュージアム視察

市民向けの環境学習・交流総合拠点2カ所を視察。参加者自身が児童・生徒など来館者と交流する機会もあり、北九州市が取り組む環境施策の市民への広がりを実感する好機となった。



北九州市の取組発表



スマートコミュニティに関する説明

7月27日(金)【環境先進施設の視察】

(1)学術研究都市視察

理工系の大学や研究機関が集積し、「環境技術」と「情報技術」を中心に活発な教育研究活動を行っている北九州学術研究都市の概要、整備状況、特色、産学官連携について(財)北九州産業学術推進機構及び北九州市立大学から説明を受け、産学連携センターの視察を行った。

(2)エコタウン視察

エコタウンセンターにおいて、資源循環型社会の構築を図る「エコタウン事業」の説明を受けた後、総合環境コンビナート内に立地する2社を訪問し、OA機器や家電のリサイクルの様子を視察。リサイクル関連企業の集積により資源循環拠点をめざす北九州市の取組に参加者は感銘を受けていた。その後、風力発電施設の視察を行った。



エコタウンセンターでの概要説明

7月27日(金)～29日(日)【ホームステイ】

参加者は、リラックスした雰囲気の中で、「戸畑祇園大山笠行事」見学、皿倉山からの眺望、日本食体験など、ホストファミリーと北九州市の生活を楽しみ、日本の家庭生活や文化に直接触れる貴重な体験となった。ホームステイ最終日は、ホストファミリーと市内国際交流団体の皆さんがランチパーティーに集結し、相互交流を図った。



ホストファミリーと

7月30日(月)【環境先進施設の視察、意見交換会】

(1)駅周辺及び紫川周辺環境関連視察

北九州市の都市計画や駅周辺整備事業、北九州モノレールの機能等につき、市役所建築都市局から説明を受けつつ、モノレールに乗車するなど現地視察を行った。その後、市内中心を流れる紫川周辺の施設を視察した。

(1)意見交換会

北九州市での6日間の研修を終え、参加者からは、同市のおもてなしに心からの謝意を送るとともに、同市のエネルギー・環境施策、市民への環境問題の啓発事業に敬意が表された。また、エコツーリズムの振興や、市街地での公共交通機関の活用など、フランス自治体の見地を活かした提案が示された。



意見交換会の様子